

# 第38回保育総合研修会

## 開催要綱

### テーマ

子どもの育ちを  
豊かにするために  
…今、求められていること

### 趣旨

高度経済成長以降、都市化、情報化、機械化等は人々の価値観や生活様式を多様化させ、少子高齢化や、地縁的なつながりの希薄化が進みました。その結果、子どもを取り巻く環境も目まぐるしく変化し、異年齢の群れの喪失からくる子どもどうしの絆の弱体化、また、メディア漬けによる発達への悪影響、食生活習慣の変化による心身の変調などをもたらしています。このような大人優先の社会風潮は、保育や教育の分野にも広がり、子どもたちの健やかな育ちを阻害し心身に深刻な影響を与えています。

そのような状況であるにもかかわらず、合計特殊出生率「1.57ショック」(1990〔平成2〕年)以降、総合的な解決策を見出せずにきました。そんな中、日本に住むすべての子どもたちのために社会全体が協力する体制をとるための一歩として、子ども・子育て関連3法案が民主・自民・公明の三党により修正合意され国会を通過しました。実施に向けた制度設計の検討が本格化され、日本の乳幼児期の子どもの福祉と教育が大きく変わろうとしています。

乳幼児期の保育は、その人の一生を決定づける、普遍的かつ重要な役割を担っていると考えます。今こそ、「やってあげる・させる・与える」大人主体の保育から、「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動する」子ども主体の保育へと転換するための羅針盤を、保育者一人ひとりがかつべきではないでしょうか。

子ども一人ひとりの命がその輝きを続けるために…。

### 期日

2013年

1月30日〔水〕～2月1日〔金〕

### 会場

神戸市

ANA クラウンプラザホテル神戸

〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目

TEL 078-291-1121 / FAX 078-291-1151

### 定員

500名

### 参加費

17,000円(非会員19,000円)

\*資料代及び消費税を含みます。

### 懇親会費

8,500円

### 宿泊費

ANA クラウンプラザホテル神戸

A : 13,500円(シングル)

B : 11,000円(ツイン)

\*各タイプとも、1泊朝食付、消費税を含みます。

### 昼食

1,800円(1/31・弁当)

### 主催

公益社団法人

全国私立保育園連盟

### 協力

公益社団法人

神戸市私立保育園連盟

### 協賛

A I U保険会社

東京海上日動火災保険(株)

(有)ゼンポ (株)トーホ

(株)サンワールド

総合福祉研究会

開会挨拶

基調報告・提言…全私保連常務理事

行政説明…厚生労働省 依頼中

## ライブセッション

## 日本の保育のグランドデザインを語り合おう

…曖昧さを抱えたままの法改正を越えて

藤森平司氏●全私保連保育・子育て総合研究機構代表／東京・新宿せいが保育園園長

遠山洋一氏●同研究企画委員会委員／東京・バオバブ保育園ちいさな家園長

森 眞理氏●同研究企画委員会委員／立教女学院短期大学准教授

久保健太氏●同研究企画委員会委員／篠原学園専門学校講師

片山喜章氏●同研究企画委員会委員／神戸・なかはら保育園園長

こんな声が聞こえてきたので、ライブセッションを企画しました。

究子：3法案が通って、いろんな憶測が飛んでいるよね。

研男：保育園の命運にかかわるんだから当然でしょ。

究子：でも、子どもの見方やどんな保育が必要なのか、根本の話は、全然盛り上がってない感じ。

研男：そんなことはないよ。研究機構の「ニューズレター」には、『公教育』『学校教育』についていろいろ触れてあったよ。

究子：教育？保育じゃないの！

研男：その問題は俄かに制度論とくっついて論争が広がりました。養護+教育=保育から、福祉+教育=保育みたいな感じでね。

究子：でも、乳児保育って就労支援のための福祉で、教育だと思ってない人が多いじゃん。

研男：だから、乳幼児教育っていい換えて、その大切さを訴える保育関係者も増えてきたんだ。

究子：じゃあ、教育って何？養護って？エデュケーション、それからケアについても、もともとの意味からちゃんと話してよ！

研男：…よし、これってとても大事な話だから、みんなで語り合おう！

懇親会

## 第1分科会 一人ひとりの子どもの主体的な学びを [定員80名]

## 支える保育とは？

…プロジェクトアプローチの保育から学ぶ

●講師

天野珠路氏●日本女子体育大学准教授

●実践発表

赤碕保育園 [鳥取県子ども家庭育み協会]

今、日本の保育は大きな転換期を迎えています。その課題の一つが大人主体の保育から子ども主体の保育への転換です。この分科会では、プロジェクトアプローチが大事にしている「まなびの主体者からはじめる保育」を足がかりに、子ども主体の保育とは何かということ学び合えればと思います。

## 第2分科会 一人ひとりの子どもの理解をどう深めるのか？ [定員50名] …気になる子と保育という視点から

●講師

宮里六郎氏●熊本学園大学教授

指示がうまく通らない・集団に入れない・集団行動ができない・衝動的な行動が多い・生活習慣が身についていない・社会的ルールが身につけていない・社会的なサインが理解できない子どもが最近増えていませんか。それを個々の子どもの特性や養育の問題にしているいませんか。その子どもたちのための理解をどのようにしていくかということが、子ども主体の保育と結びついていくのではないのでしょうか。そういったことを学び合えればと思います。

## 第3分科会 1・2歳児保育の現状と課題 [定員90名]

…子どもが主人公になれる保育のあり方を考える

■運営 全私保連保育・子育て総合研究機構 1・2歳児保育研究チーム（今井チーム）

●講師

今井和子氏●元 立教女学院短期大学教授

近藤幹生氏●白梅学園大学教授

1・2歳児保育研究チームでは、待機児童の大半を占める1・2歳児の保育需要が増大する中で、保育実践現場の現状と課題を探究する必要性があることに注目しました。研究の出発点として、全国の公立・私立保育園の園長・保育士を対象にアンケート調査を実施し、続いて1・2歳児保育の現状を詳細に把握し、課題を見出すために、保育実践現場を見学しました。また、保育場面の写真撮影、ビデオ撮影に協力いただき、保育者、園長との園内研修を重ねました。この分科会では、1・2歳児保育の現状と課題として、アンケート調査と保育実践現場の映像記録の報告をもとに議論を進め、1・2歳児保育において、子どもが主人公になれる保育実践のあり方について深めていきたいと思います。

## 第4分科会 「子どもの育ちを支える」大人の自己肯定感を考える [定員50名] …乳幼児期に育てておきたい「生きる力」 ～「自己肯定感」から始まる

■運営 全私保連・運動推進委員会

●講師

鯨岡 峻氏●中京大学教授

鈴木眞廣氏●全私保連保育・子育て総合研究機構研究企画委員会委員長／千葉・和光保育園園長

「俺、もう一度赤ちゃんからやり直したいな。でも今のままの俺なら、生まれてこなくていいよな…」  
電車の中でふと耳にした高校生の会話。保育園に戻って子どもたちの遊ぶ姿を見ていると、その言葉が鮮やかに蘇ってきました。この子たち一人ひとりにそういう思いをさせないように、私たち保育者は自己肯定感を育む保育に日々取り組んでいるはずですが、しかしながら、私たち大人自身が「生まれてきてよかった」「自分はここに居ていい」といった、所属感や安心感から生まれる「自己肯定感」をもって子どもの育ちを支えているのでしょうか…。この分科会では、立場の違う提案者により、「自己肯定感」について、また「生きる力」とは、という視点から意見提案をいただき、そして「子どもの育ちを支える」私たち保育者が取り組む、自己肯定感を育む保育実践を改めて一緒に考え、語り合しましょう。

## 第5分科会 すべての子どもに求められる [定員100名] 制度の構築に向けて

■運営 全私保連・保育制度検討会

●講師

櫻井慶一氏●文教大学教授

山縣文治氏●関西大学教授

### 国、地方自治体行政関係者／他

子ども・子育て関連3法が衆議院審議での修正を経て、社会保障と税の一体改革とともに参議院で可決されました。この国の子どもをめぐる将来に向けた仕組みについて、所管の一本化、給付や施設体系、ステークホルダーの設置、各自治体における事業計画の策定等、具体化をしていく段階に入りました。

本連盟ではこれまで、各省を縦断する国を挙げた子育て施策の実現や待機児童対策とともに、人口減少地域の保育施策の重要性等を掲げた政策提言を、繰り返し行ってきています。将来に向けて求められる仕組みも、これまでと同様に“どの子どもも排除されない”社会の実現に他ならないと考えます。超少子化社会である日本では、人口減少地域はもはや特定の地域の問題ではなくなりました。この分科会では、とくに人口減少地域の保育課題を中心に切りあげ、将来に向けた保育・子育て支援のあり方をご一緒に考えていきたいと思ひます。

## 第6分科会 想定外を想定する～震災の経験から学ぶ [定員30名] …その時、保育園が守るべきものは何か

■運営 全私保連・調査部

●実践発表

阿部哲雄氏●岩手・山田町第一保育所所長

平成23年3月11日の震災では、甚大な被害とともにさまざまな課題が私たちに突きつけられました。調査部では、被害の状況や直面させられた課題について、関東エリアの会員園へアンケート調査を行いました。また、津波による直接の被害を被った岩手県山田町の保育園へのヒアリング調査も行いました。このような中から、“安心な保育園とはどんな保育園なのか”“園長、職員の役目とは何なのか”“どのような支援が有効だったのか”等の課題が見えてきました。この分科会では、直接に地震、津波の被害を被った保育園からの報告を聞き、午後から分科会参加者による避難マニュアルの作成を行います。また、防災関連用品の展示も行う予定です。

## 第7分科会 楽しい保育現場をつくるための [定員50名] 保育カウンセリング

■運営 全私保連・保育カウンセラー企画委員会

●講師

大竹直子氏●千葉大学カウンセラー、法政大学・大学院兼任講師、臨床心理士

●実践発表

もみじ台北保育園〔(一社)札幌市私立保育園連盟〕

うじな保育園〔広島市私立保育園協会〕

保育者にとっての「楽しい職場」「安心できる職員どうしの人間関係」は、子どもや保護者にとっての「楽しい保育園」「安心感」につながる大切な課題です。しかし、多忙さ、価値観や年代の違いからくるすれ違いなどから、職員どうしの人間関係に問題を抱える保育者も少なくないでしょう。この分科会では、保育カウンセリングを学んだ保育者の事例をとおして、このテーマについて考えていきます。また、少人数のグループに分かれて、①よりよい職場の人間関係のあり方について語り合い、②円滑な職場の人間関係を築くための理論や方法を学び、③楽しく働くために「今、私ができること」を具体的に見つけてきます。皆様のご参加をお待ちしております。

## 第8分科会 子どもたちにどんな生き方をしてほしいか [定員50名] …保育の道しるべとしてのESDを学ぶ

■運営 全私保連・保育国際交流運営委員会

●講師

森 眞理氏●立教女学院短期大学准教授

保育は“子どもたちに、これからどんな生き方をしてほしいか”という願いを込める仕事でもあります。そんな時の判断基準として、児童福祉法・児童憲章・児童権利宣言や、なじみ深い部分では保育所保育指針といったところが、私たちの保育の一つの指標になっているかと思います。保育国際交流運営委員会ではそれらに加え、国連が取り組んでいるESD（持続可能な開発のための教育）という活動実践を紹介します。その中には平和教育、人権教育、環境教育、福祉教育 多文化共生教育、国際理解教育、ジェンダー教育、開発教育など、これから私たちが意識しなくてはならないテーマがたくさん含まれています。同時に、子どもたちが地球家族として生きていく時に必要な力でもあります。今回はそれらについて、ともに学びたいと思います。

\* ESDとは、Education for Sustainable Developmentの略称で「持続可能な開発のための教育」と訳されています。2002年のヨハネスブルグサミットで日本が提案し、「国連ESDの10年」(2005年～2014年)が国連で採択されました。環境省では、「地域におけるESD実践」の促進を目的に、平成18年度～20年度の3か年、「国連ESDの10年促進事業」を実施しましたが、幼児教育の取り組みはほとんど報告されていません。日本 OMEPではDevelopmentを開発という言葉に置き換えています。私たち保育国際交流委員会では開発を自分たちの『生き方』に照らし合わせて、より身近に『持続可能な』という視点で保育を提案し、子どもたちへ誇るべき未来を渡す役割を果たしていきたいと考えています。

3  
目

### 2/1 記念講演◆閉会

全体のまとめ・ふりかえり

## 記念講演 大人が子どもとかかわることの重要性を知る …子どもの社会力を育むために

門脇厚司氏●筑波大学名誉教授・茨城県美浦村教育委員会教育長・社会力総合研究所代表

「子どもに今、必要なのは社会力」「漢字が読めるとか、何かが上手にできるとか、学校の成績がいいといったことは、ヒトの子が社会力のある人間になることに比べたら、どうでもいいといってもいいぐらいのことです。子どもを育てるとは社会力のある人間に育てること」と門脇氏はいわれています。

文科省が掲げる「生きる力」と門脇氏がいわれる「社会力」に違いがあるのでしょうか。今回は、社会力をキーワードに子どもが自ら育つ力を育むために、我々大人が子どもとどうかかわればいいのかを学べればと思います。

◆門脇厚司●かどわきあつし／1940年中国青島市生まれ。1940年中国青島市生まれ、山形県出身。1970年東京教育大学大学院教育学研究科博士課程修了。教育社会学専攻。淑徳大学講師、日本経済新聞社、東京教育大学助教授、筑波大学教授、筑波学院大学初代学長などを経て、2010年茨城県美浦村教育委員会教育長に就任。『子どもの社会力』『社会力を育てる』（ともに、岩波新書）、『親と子の社会力』（朝日選書）、『子供と若者の〈異界〉』（東洋館出版社）など著書多数。

日付	確認印
下記内容にて承りました。	

★申込先 FAX 03-3535-3296

## 第38回保育総合研修会申込書

◆申込締切 2013年1月15日(火)  
 なお、締切以前に定員に達した場合は、以後のお申込みはキャンセル待ちとなります。

登録コード番号

—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★コード番号は「保育通信」発送用茶封筒の貴園宛名行下段に印刷されている番号です。  
 ★FAX送付後3日以内に返信がない場合は再送をお願いします。

開催：2013年1月30日～2月1日

No.	ふりがな 参加者氏名	性別	年齢	ふりがな 保育園名	職種	経験 年数	分科会								懇親 会	1/31 昼食	宿泊希望			禁煙 喫煙 希望	同室 希望者
							1	2	3	4	5	6	7	8			1/29 (前泊)	1/30	1/31		
							分科会 1	分科会 2	分科会 3	分科会 4	分科会 5	分科会 6	分科会 7	分科会 8	要	A	A	A	禁煙		
							分科会 1	分科会 2	分科会 3	分科会 4	分科会 5	分科会 6	分科会 7	分科会 8	要	A	A	A	禁煙		
							分科会 1	分科会 2	分科会 3	分科会 4	分科会 5	分科会 6	分科会 7	分科会 8	要	A	A	A	禁煙		
							分科会 1	分科会 2	分科会 3	分科会 4	分科会 5	分科会 6	分科会 7	分科会 8	要	A	A	A	禁煙		

\*希望する分科会の番号、宿泊希望日・タイプ等に○印をつけ、必要事項をもれなくご記入ください。  
 \*宿泊のご予約に際し、ふりがなが必要のため、「ふりがな」は必ずご記入ください。  
 \*禁煙、喫煙ルームについては、部屋数の関係でご希望に沿うことができない場合がございますのでご了承ください。  
 \*分科会1～8の8つの分科会から、1つをお選びください(複数選択不可)。

### ◆勤務先住所

〒 \_\_\_\_\_ その他・ご質問など \_\_\_\_\_

TEL

FAX

参加費	会員	17,000円×	人	=	円
	非会員	19,000円×	人	=	円
昼食代		1,800円×	人	=	円
宿泊費	A	13,500円×	泊×	=	円
	B	11,000円×	泊×	=	円
懇親会費		8,500円×	人	=	円

合計

円

申込み受付番号 No. \_\_\_\_\_ (この欄には記入しないでください)

✓コピーして、ご記入ください。

\*FAX送信後、お振込みください。  
 なお、請求書は発行しておりません。

# 日程

12:00 13:00 13:45 14:45 15:00 17:00 17:15 18:30

第1日目 (1月30日)	9:00	受付	基調報告 開会	行政説明	休憩	ライブセッション	移動	分科会 打合せ会	懇親会
第2日目 (1月31日)		昼食	分科会						
第3日目 (2月1日)	9:30	まとめ	記念講演	閉会	16:30				
	11:30								

## 申込み方法

### ◆申込先

名鉄観光サービス(株)東京中央支店 担当:小寺・平戸・青木  
東京都中央区京橋2-7-14(ビュレックス京橋5F)

TEL 03-3535-3290 FAX 03-3535-3296 営業時間:月～金曜日 9:00～18:00 / 土・日・祝日休み

- \* 申込用紙にご記入のうえ、FAXにて上記までお申込みください。
- \* 申込書受信(受取)の確認をFAXにてお送りいたします(到着が営業時間外および休日の場合は営業翌日になります。万一小申込み後3日以内に受付け確認の通信がない場合は、お問合せください)。
- \* 参加費は、お申込みと同時に名鉄観光宛、下記の銀行振込口座へお振込みください。
- \* 1月16日(水)頃、参加券、会場案内図等をお送りいたします。
  - ・原則、領収書は発行いたしません。振込済用紙の控えが領収書の代わりとなります。申込書とともに必ず保管してください。
  - ・シングルタイプのお部屋をご希望の方は、お早めにお申込みください(200ルームをご用意しております)。
  - ・懇親会について:今回は着席スタイルです。
  - ・1月31日の昼食は、ホテル内にもレストラン等がございますが、混み合う可能性と限られた時間しかございませんので、ご注意ください。なお、ホテル規則により、会場で用意するお弁当以外の食べ物の持ち込みはご遠慮いただいておりますので、予めご了承ください。

### ◆参加費等振込み先

みずほ銀行 <sup>やえすぐち</sup>八重洲口支店  
普通預金 口座番号 2124150  
口座名義 名鉄観光サービス(株)

- ・振込人名義は、社会福祉法人は省略し「〇〇保育園」にてお願いいたします。
- ・振込み手数料は各自で負担お願いいたします。
- ・なお、当日会場(名鉄観光デスク)にて直接精算も可能です。

### ◆申込締切 2013年1月15日(火)

- \* 取消の場合でも参加費は返金いたしません。代理参加は可(ただし、3日間通して同じ方の参加が原則です)。
- \* 宿泊費は1月22日(火)までにキャンセルの場合、返金いたします。
- \* 欠席された方には研修会終了後、資料をお送りいたします。

◆前泊・後泊・旅券等の手配について ご希望の方には、申込先の名鉄観光で取扱います。直接お問合せください。

◆交通のチケット予約等は、申込受付が完了した後にお手配ください。

◆体調不良、アレルギー等がありましたら、事前に事務局までご相談ください。

### ★個人情報の取り扱いについて

- ・「参加申込書」に記載された個人情報は、慎重に管理し、本研修会の運営・管理の目的に限って使用いたします。
- ・また、研修会の参加者名簿には「氏名」「都道府県・指定都市名」「施設名」「職種」を記載いたします。
- ・なお、本研修会の申込み受付等に関する業務を名鉄観光サービス(株)東京中央支店に委託・実施するため、上記の目的の範囲に加え、宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。

◆問合せ (公社)全国私立保育園連盟 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10  
TEL 03-3865-3880 FAX 03-3865-3879